令和３年度　第１回しらさぎ祭　校長あいさつ

　みなさんおはようございます。いよいよ、しらさぎ祭の当日を迎えました。みなさんよく知っての通り、今年は昨年度に引き続き、毎年１０月に春日部市民文化会館で行っている本校合唱祭が新型コロナウイルスの影響で中止となりました。しかし、昨今の社会情勢を鑑み、「感染者の数が激減している今ならば、気をつければ何とかできるかもしれない。なんとか生徒たちに良い経験をさせ、思い出に残る行事はできないか」と、先生方が知恵を出し合い、準備期間の練習の在り方から当日の運営まで様々な事を乗り越えて今日の実施にこぎつけたことを、まずはじめに言っておきたい。先生方の君たち生徒諸君への愛情が学校を突き動かし、しらさぎ祭の実施にこぎつけたということを、今一度、心に刻もう。

　さて、しらさぎ祭は、クラスで選んだ曲を歌うクラス合唱と、文化部の日頃の活動の成果を発表する場面の二部構成となっています。ここで、改めてしらさぎ祭をやる意義を考えてみましょう。世間では、「授業の時間が足りない、授業の時間を増やすべき」といった声が聞こえています。そのような中で、通常の授業を削り、しらさぎ祭を行うのはなぜでしょうか…。それは通常の授業では学ぶことのできないことをしらさぎ祭で学ぶことができるからです。では、しらさぎ祭をとおして学ぶことのできるものとは何でしょうか…。これまでの取り組みを思い出してみましょう。はじめに実行委員を決めましたね。実行委員の生徒たちの話し合いでテーマが決まりました。次に音楽の授業の中で、各学年ごとに設定された候補の曲を聴き、クラスの総意で合唱曲が決まりましたね。しかし、その合唱の練習も、初めはうまく音取りもできず、なかなか順調には進まず、実行委員やパートリーダーの生徒が苦労をした時期もあったことでしょう。それら１つ

１つの課題をみなさんの知恵と汗、友情と団結で乗り越えるという経験は、通常の授業ではなかなか学ぶことのできない貴重な経験という学習なのです。したがって、このしらさぎ祭を通して学ぶことができるものとは、学級の団結、他を思いやる心、協力して１つのことに向かう心、やり遂げた充実感、そして友との絆などがあげられます。

みなさん一人一人が心に残るしらさぎ祭にするために、これまで練習してきたことをクラスのみんな、文化部の部員たちみんなの心を １ つにして発揮してください。私は、みなさんのがんばりを目と耳とそして心で受け止めます。

本校第１回のしらさぎ祭の成功を祈念して、校長のあいさつとします。

令和３年１２月２１日　春日部市立飯沼中学校長